

<http://language.sakura.ne.jp/s/>

神戸大学石川研究室 平成 22 年度英語系授業中間評価
「英語オーラル 1」月 3 (理学部 1 年生)

- 実施日 2010 年 5 月 31 日 (7 回目授業の開始前)
- 回答数 42 (うち 1 名は満足度評価記入なし)
- 授業満足度平均 7.8/10

●評価点

教科書でなく実際の英語を聞く、歌が楽しみ、先生は感じがいい、授業の雰囲気、発音の練習、発音がわかる、耳がよくなる、英語を使える、聞くことと話すことの両方ができる、細かな発音の練習ができる、聞き取りの音声が本場っぽい英語、先生おもしろい、授業が充実している (眠くならない)、先生が楽しい、眠くならない、音楽を遣ったりして退屈に感じない、実用的な英語を学べる、TOEIC の対策ができていて、飽きない、宿題がない、生徒たちはみんな活発にやっている、先生がおもしろい、音楽は知ってる曲が多く 4 人でやるのでやりやすい、自分の点がわかること、目の前に画面が出るので見やすい、発音のコツの説明がわかりやすい、先生おもしろい、先生おもしろい、発音リスニングを楽しく学べる、授業中に自分で英語を話す機会がある、ディスカッションがあつて相手と対話できる、発音をきちんと教えてくれる、英語の音楽が聞ける、脱線話、フリートーク、ジョークなどがあり語りのテンポ、発音の説明がわかりやすい (からといってすぐにそううまくはできませんが)、発音が覚えられる、聞き取りが多い、授業に集中できる、バリエーション豊富で集中できる、基本、英語で授業なところ、実力がつきそう、授業がやり終わった感じがしてよい、ディクテ、発音、授業のテンポ、スピーキングのあるところ、リスニング、発音テスト、英語で話すことが多いので自然に聞く、話してくれる英語わかりやすい、いろいろなことをするので飽きない、教科書通りのことをしないこと、曲のディクテ、授業がコミカル、コミュニケーションを取りながら授業すること、ネイティブすびーあーの音源を使うこと、集中しやすい、いいプログラム、音楽聞き取る、しずかちゃんのパンツ、顔おもしろい、先生がおもしろい、発音のやり方が詳しい、先生が明るい、発音が細かく丁寧、リスニング力が自然に伸びる、英語的な発想、洋楽リスニング、音声学の発音練習 (今まで発音記号がわからなかったのも)、いろいろな種類の英語を聞く、発音詳しい、楽しい雰囲気、キャラ、クイズ形式、テンションが高い、ペース、わかるように話してくれる、話、音楽のチョイス、隣の子がかわいい、発音テストで個別にチェックすること、テンポ、いろいろな歌が聞けて楽しい、他学科のことコミュニケーションが取れる、フリートークのモジュールのお題がおもしろい、楽しい、発音、友達とコミュニケーション、洋楽、4 人制、なし、テンポがいい、リスニング練習、音声学は発音がかつこよくなっていると思う

●改善点

休憩がほしい、TOEIC 対策をしてほしい、TOEIC のためのパターンを入れてほしい、特になし (毎回楽しみ。しいて言うならテストのプレッシャー)、特になし、You're dead と言われたけど特にないです、もっとゆっくり話してほしい、リスニングがもうちょっと入ってほしい、発音練習だけでなくスピーキングも入ったらよい、テストやさしくしてください、ディクテは毎回難しい、特にありません、みんなで相談してリスニングするのはよいときもあるが頼りすぎることも、発音テストのときに先生の反応で点が予想できる、P C

使わないのですか、リスニングが難しいです、ちょっと忙しい、暑い、プリントはもう少し丁寧に配ってください（笑）、リスニングは早すぎて難しい、頑張っているのも単位ください、テストのしすぎ、リスニング教材が難しすぎる、授業のスピードが速い、発音のやり方紙に書いてほしい、少しは会話の練習もしたい、音声学のスライド、曲の作者の選択問題の時間が短い、暑い、つばめっちゃ飛ぶ、先生がきゃしゃい、もっと筋肉を、英作はきつかった、教科書使ってほしい、リスニング簡単にしてほしい、英語の歌が難しい、コメント、全員の前での発音テストは緊張しすぎてしまう、洋楽が難しすぎてほとんどわからないことが多い、なまった音源はディクテに使わないほうがいいと思う、出席点・テスト点なしで何もしなくて単位もらえる授業（がいい？）、毎回テストで神経が磨り減る、単位ほしい、先生のコメントがシビア、ちょっと暑い、皆の前で英語を話すのがすごくいや、発音テストが緊張する、英語が苦手についていけない、いきなりPC使わされて困る、

●講師総括と後半授業について

全体として比較的高い評価をいただいたようですので、後半も基本的にはこのような進め方で続けていきたいと思います。改善点として、要望のあった TOEIC については「ワークショップ」の回で扱います。あわせて、部屋の温度管理や、発音テストへのコメントの出し方についても注意したいと思います。授業レベルが高すぎて困っておられる方がおられたら個別にご相談ください。残り半分となりましたが、これからもがんばっていきましょう！

神戸大学石川研究室 平成 22 年度英語系授業中間評価

「英語オーラル 3」 月 4 （経営学部 2 年生）

●実施日 2010 年 5 月 31 日（7 回目授業の開始前）

●回答数 31

●授業満足度平均 8.1/10

●評価点

プレゼンの練習，プレゼン・発音など幅広くできている，先生の英語は聞き取りやすい，発音指導が丁寧，プレゼン形式，細かい指摘，授業がテンポよく進んでゆくので退屈にならない，発音の演習がためになる，プレゼン技術が向上，ふだんやらない英会話などに組み入れる，プレゼンの評価・アドバイス，頑張れば頑張った分評価されること，プレゼンは非常に良い経験になる，モジュールにわかれているので効率よく知識を吸収できる，参加型の授業，発音・会話，授業内容は面白い，発音，リスニングも好き，発音，プレゼン，英語での会話の時間，事前準備をすることで授業以外に学ぶ時間ができる，今までで一番オーラルを学んでいる（発音とか），プレゼンの仕方を習える，おもしろい，発音の仕方がわかる，会話のチャンス，発音の指導が役に立っている，プレゼンの基本を学べる（経営ではあまりプレゼンの機会がなかった），モジュールに分かれていて 90 分が短く感じる，プレゼンは初めてなので楽しい，ディクテは難しいと思っていたが面白くヒントがあっている，発音をみんながちゃんと練習するので気持ちがいい，プレゼンのポイントがわかる，人柄，発音の仕方がわかりやすくてよい，プレゼンが楽しい，プレゼンに対するダメ出しが毎回もらえて参考になる，発音を教えるなど今までにない感じだった，授業の仕方がうまい，プレゼンのように就職後に必要なことが学べる，授業のテンポがよく眠くならない，正しい発音が学べる，将来に役に立ちそう，グループワークだからねない，発音の授業は初めてやった，実践的で将来役に立つ，パワーポイントを利用する機会ができる，ディクテで聞く力が伸びそう，プレゼンの改善点を指摘すること，発音がききとりやすい，ディクテ，発音，英語で授業が行われているが聞きやすくわかりやすい，発音の基礎練習，計画がはっきりしている，テンポ，正しい発音，英語の発音について学べる，将来使うプレゼンを学べる，先生が英語で指導していること，モジュールにわかれているので集中しやすい，発音，プレゼンの基礎，発音を詳しく学べる，1 つの授業にいろいろな活動があり退屈にならない，プレゼンに対するアドバイスが的確，発音がよくなる，英語でのコミュニケーション力やプレゼン力があがる，なんだかんだで盛り上がりは見せている，子音の発音がこれまで倣っていなかったのが新鮮，英語で授業が行われていること，プレゼンの勉強になる，発音練習，評価システムが明確，発音

●改善点

リスニングをもう少し取り入れても，プレゼンの順番がずれるのでプレゼンの投票制がわけがわからなくなっている，寒い，プレゼン評価に先生の意見も反映してほしい，プレゼンが次週に回ることがあるので準備が大変，クーラーがきつすぎる，もう少し会話の時間をゆっくり，なし，プレゼンで次回にやるチームを教えてほしい，3 週間前に提出したプレゼンが未提出扱いになっている（A4），プレゼン 1 つずつに対するダメ出しの時間が長い，データ提出したのに未提出になっている，初回授業での異常なびびらせかた（オーラルⅢはあきらめようかと思った），特になし，机が狭い（パソコン），プレゼンの投票時に先生の票も入れてほしい，プレゼンをその日にできなかった班にはペナルティを与えてほしい，

点数を完全に投票依存にしないほしい、ディクテーションがネイティブすぎて聞き取れない、プレゼンの日程が予定とずれていていつ当たるかわからない（でも 2 週に 1 回はともしんどいので今のほうが楽）、プレゼンがきつい、授業の準備がしんどい、2 週に 1 回のプレゼンはけっこうきつい、グループ評価+個人評価があってもよいのでは、いつプレゼンがあるかはっきりしてほしい、パソコンが机で邪魔、プレゼンが毎週予定より押していること、課題の提出日がHPの記載とずれてきている、プレゼンの準備期間が短い、全 5 回のプレゼンは回数が多くて大変、他の授業より評価が厳しそう、プレゼンに重点が置かれすぎてオーラルではなく情報の授業のようだ、確認メールをもらっているのに課題がなぜか未提出になっている、教師の考え方がやや自己中心的、パソコンのトラブルが多い、日本人教師が英語で授業をする意味が分からない、プレゼンのテーマが少子化対策などデカすぎて少しやりにくい、プレゼンの日程が予定通りでなくわかりにくい、プレゼンが予定通りに進んでいない、毎回用意が大変、プレゼンの手本を見せてほしかった、PC の部屋でやる意味がなく PC が邪魔、復習してください、プレゼン準備に時間がかかりすぎる、モジュールが多い

●講師総括と後半授業について

全体として比較的高い評価をいただいたようですので、後半も基本的にはこのような進め方で続けていきたいと思えます。後半の改善ポイントとして、プレゼンの進度が当初の予定とずれてきている点は確かに指摘の通りで、別紙のように予定を組み直し、新しいスケジュールを厳守していきます。また、フィードバックの時間を確保するため、トピックを一つ減らします。プレゼンの評価についてはビジネスの世界でも研究の世界でも＜ピアレビュー＞が基本なのですが、絶対的評価を受けていただくことにも確かに教育的効果があると思えますので、第 3 プレゼン以降は講師の評価との二重評価にします。最後に、早くに提出済みのグループを未提出扱いにして発表の回を遅らせてしまったことは当方の手落ちでした。お詫び申し上げます。では、残り半分、後半もがんばっていきましょう！

神戸大学石川研究室 平成 22 年度英語系授業中間評価
「英語オーラル1」水1（経済学部1年生）

●実施日 2010 年 6 月 2 日（7 回目授業の開始前）

●回答数 41

●授業満足度平均 8.0/10

●評価点

ほとんど英語なのでリスニングの練習に、出席を時間で区切ってきっちり取ること、ためになる内容で構成されている、無駄がなくだらだらしないこと、英語での授業、発音を学べる、音楽を聴いて英語を学べる、授業が忙しい点、体験的で自主的に参加できる、緊張感、先生がガチ、リスニング力があがりそう、パソコン画面で表示されるのでわかりやすい、テストの歌がよい、グループ単位でテストできるので他の人と仲良くなれる、スピーキング・リスニングなどいろいろな分野を学べる、パワーポイントを使っているみたい、先生の英語力が高く吸収することが多い、英語を使っている授業、洋楽を聴いての書き取り、正確な発音、適度な緊張感、楽しい、ディクテ、発音が今まで思っていたのと違っていいものになった、リスニングテストの前に内容解説があること、グループで相談して回答すること、英会話の課題がやりやすい、正しい発音を習得できる、CNNなどネイティブの本当の英語を学べる、やることははっきりしているのでやる気が維持できる、リスニングのテスト、発音テスト、グループ、発音練習、洋楽、パソコンを使った授業、グループ、発音、洋楽、わかりやすい、洋楽のリスニングや文法など授業に工夫がある、先生の wonderful な英語、コミュニケーションの多さ、純粋に英語の練習ができる、明確な課題があるため継続的学習をしやすい、互いに話すなど英語を使う機会がある、先生がずっと英語で話すので英語に慣れてきた、発音練習が細かくていいと思う、スライドは見やすい、発音練習がわかりやすい、グループ、点がつくからやる気が出る、毎回テストなので気が引き締まる、英語を発音する機会があり身に付きそう、発音の詳しい講義、リスニングの課題制度、洋楽、実践的英語、リスニング、楽しい、参加がしながら授業を受けられる、個別に詳しく発音を学べる、音声学、音楽、ディクテ、授業ごとに発音がよくなる感じがする、他の授業よりも雰囲気がい、先生おもしろい、授業の進め方が一定していてわかりやすい、英語の歌のセクションが親しみやすい、発音練習が丁寧、点数が出るのでわかりやすい、洋楽、洋楽、正確な発音、フリートーク、授業のテンポ、発音練習が本格的、授業がおもしろい、英語での授業、発音が詳しく学べる、歌、声を出せる（発音）、音楽が楽しい、リスニング、授業がリスニング・発音と区切られているので集中できる、音楽、評価わかりやすい、洋楽が聞ける、人と会話できる、リスニング、英語力がつく、教養が豊かになる、宿題があまりない、発音がいい、グループ活動、洋楽、発音、洋楽、点数制、発音がよくなる、リスニング力があがる、外国の歌や文化を知れる、発音練習、洋楽の選挙区、先生が英語で話す、リスニングがいっぱいできる、わかりやすい、

●改善点

しいていえば教室が遠すぎた、次が六甲台なので長い時間延長しないでほしい、自由英作をもう少しやってみたい（メール提出）、授業ごとのディクテをあまり聞かないようになってくる点、遅延届があれば遅刻は考慮してほしい、リスニングのレベルが高すぎ、毎回単語テストしてほしい、電車の遅れなどの遅刻は大目にみてほしい、データとか消すのが早すぎた、特にない、微妙な遅刻の対応、発音テストで3、4点の人にはちゃんと細かいアドバイスがほしい、遅刻できない点、遅刻と欠席が同じ扱いなのがきつい、TOEIC 対策を

もっと早めにやってほしかった、遅刻厳禁なところ、英語を自ら使う機会が決して多くない、グループの点を返却するときに個別に反してほしい、発音テストの評価基準がよくわからない、リスニングの歌が難しい、遅刻にやさしくしてほしい、発音の復習時間がほしい、発音の採点基準を明確にしてほしい、試験内容について知りたい、曲の聞き取りは難しすぎる、文法演習の少なさ、思いつく限りではとくにない、発音について前週に知らせる練習期間を置いたほうがいい、前日にディクテを聞いても文章がないとわからない、洋楽で特殊な発音をしていたり簡単な英語でもわからない時がある、リスニングの音が聞きにくい、説明時に日本が占める割合が多い、ディクテの時の背景説明量が多い、J Rとバスへの配慮を、授業のテンポが少し早い、発音の時に前半と後半で差が生まれると思うので考慮に入れてほしい、発音のスライドが早い、音楽の話し合いの時間が短い、理由に関わらず遅刻したら鍵をしめられる、1分でも遅刻したらその日の授業の点がなくなる制度をなくしてほしい、時間配分、実力主義すぎる、出席点の割合が高いほうがいい、毎回テストをするのは少し多い、テストを毎回する必要はないと思う、発音テストで直したらいいところを教えてもらえない、最後の問題を解いている時に CD や口笛が邪魔、ディクテの単語がたまに難しい

●講師総括と後半授業について

全体として比較的高い評価をいただいたようですので、後半も基本的にはこのような進め方で続けていきたいと思います。改善点として、要望のあった TOEIC については「ワークショップ」の回で扱います。あわせて、部屋の温度管理や、発音テストの評価基準の明示化についても改善したいと思います。「遅刻」については授業の基本ポリシーとして厳しく対応しています。遠方の学生さんも多く、たいへんご苦勞をおかけしますが、「大学で自ら学ぶ」ことの基本線としてどうかご理解をお願いできればと思います。それでは後半もがんばっていきましょう！

<参考：発音テストの評価基準>

- 5・・・十分に明瞭に聞き取れ、ノンネイティブである日本人として、公式の学会やビジネスの会合などの場でなされる発音としてもとくに問題を感じない
- 4・・・十分に明瞭に聞き取れ、ノンネイティブである日本人として、通常の学校や仕事などの場でなされる発音としてもとくに問題を感じない
- 3・・・声量が絶対的に小さい／十分に明瞭に聞き取れない／発音に日本語風のアクセントが残り自然な英語として聞こえにくい／全体に抑揚が小さく平板で内容の聞き取りが難しいなど、ノンネイティブの英語の理想形としては何らかの問題点が見られる

★原則として2点以下はつけないことにしています。毎回の評価者の割合ですが5または4を取るのはクラスの5～10%程度で、多くの方が「3」の評価になっています（3は幅が広いです）。頑張っても3から上がらないという人は、個人的に相談にいらしてください。90分の授業内では一人に避ける時間が限られていますが、個別アドバイスができればずいぶん発音は改善します。

神戸大学石川研究室 平成 22 年度英語系授業中間評価

「英語オーラル1」水2（国際文化学部1年生）

●実施日 2010 年 6 月 2 日（7 回目授業の開始前）

●回答数 41

●授業満足度平均 8.5/10

●評価点

話がおもしろい、例文などがおもしろく発音の仕方がわかりやすい、発音の仕方が学べる、実際のニュースや音楽を教材にしていること、英語のアウトプットの良い機会になる、90分はあっという間、発音の練習が丁寧、リスニングを4人でやること、発音、英語の歌、モジュールにわかれており方針が明確なこと、洋楽の導入、先生の発音の手本はわかりやすい、リスニング・スピーキングのバランスがよい、どうすれば英語らしい英語になるのかのアドバイス、自分じゃ聞かない音楽、発音練習が充実している、楽しい、モジュールの目的が明確で安心、先生の話がほぼ英語で進められること、学生同士の英語の会話、クリアな発音やリスニングの練習、発音練習、ディクテ、フリートーク、丁寧な発音練習、ディクテの説明で知識が増える、眠くない、発音詳しい、リスニングの機会が多い、英語での話し合い、フリートーク、曲の聞き取り、先生の発音は明瞭でわかりやすい、発音テストがあること、リスニングでの有名な曲、英語での説明、会話、発音、楽しい、発音の仕方（自分がどう間違っていてどうすれば改善できるか）が明瞭、楽しい（高いテンションで）、かたくなるしくない、発音が上達しそう、おもしろい、先生が学生一人一人とコミュニケーションが取れている、題材、先生の英語の発音がすごい（早口言葉とか）、ディクテ後のフリートーク。発音練習、いろいろな曲、先生の発音、発音重視のこと、会話、発音の練習が具体的で実践的でおもしろい、オーラルの目標を漠然とネイティブっぽくではなく日本人として英語が伝わることに決めていること、発音を細かく分析すること、洋楽、オーラルの授業なのであくまでもオーラル重視なこと、ディクテのテストのために毎日英語を聞くようになる、発音を一つ一つ練習、少しだけど友達と英語で話せる、グループ、フリートーク、発音の仕方がわかりやすい、英語で話す機会が、モジュール、歌、英語で授業すること、さまざまなモジュール、正しい発音の仕方、課題としてのディクテ、歌、グループ、発音、歌、ペアでのトーク、テンポ、テンション、グループ、楽しい、発音テストがあるので集中できる、CNNのディクテの前にプレゼンで説明があるのでよく理解できる、モジュールごとにやることが決まっていてわかりやすい、発音、音楽、正しい発音（b,vなど）、グループで聞き取りするのでそれぞれの聞こえ方の違いが判る、英語を聞く力話す力が養われている感じがする、英語に対して外国語と（1語ずつ訳す）という意識が減ってきた、音楽、緊張感、アクティブ、発音、フリートーク、音楽があるので飽きずに集中できる、グループワーク、発音、音楽、ディクテ、先生の話術、発音を理論的・物理的に学べる、ディクテの選曲がすばらしい、発音、スムーズに学べる、発音、楽しい、英語で友達と話す、音韻論の講義、グループでの聞き取り、英語で行われること、楽しい、ハイテンション、発音の丁寧な指導、計画的な進行、さまざまな分野を主題に、

●改善点

なし、発音の仕方を家で復習できるよう教材をウェブなどで公開してほしい、D棟が遠い、TOEICやTOEFLの問題もやりたい、特になし、パワポの内容をレジュメ化して復習用に配ってほしい、机のモニターが邪魔、ランダムに座っているいろいろな人と話したい、もう少し英語で話す時間を長くほしい、発音練習の早口言葉などを書き写す時間がないので配布

してほしい、オーラルのこういう授業をふやしてほしい、もっといろいろな人とたくさん話す機会が欲しい、やることが簡単というかもっと厳しくてもいい、発音テストで改善点をちゃんとやってほしい、スライドがさくさく進みすぎてたまについていけない、ディクテなどでもう少しヒントが欲しいと思うときも、授業内容についてのもっと詳しいプリントがほしい、テンポが速い、洋楽のディクテが難しい、キーボードが邪魔、発音の練習時間が短い、フリートークを長く、最初のころにやったペア紹介のように全体に向かったの発言もあれば、モジュールごとの時間が少し短い、部屋の温度を下げたほうがよい（クーラーが効きすぎていた）、CNN は2つともやってもいいのでは、席が意外にも固定化してメンバーがかぶる、発音が適当になる、もっと発音の練習を、他のクラスではシャドーイングをしていると聞きました、もっといろんな人と交流したい、音楽の聞き取りが声的にすごく難しいときがある（もっとメジャーな曲希望）、リスニングダウンロードを再開してほしい（なぜか再生できないので予習できない）、ディクテのヒントを言いすぎないでほしい、ディクテの音楽をもっと多ジャンルに、フリートークが短い、もう少し発音練習を長く、もっと英作などほしい、会話の時間、TOEIC 対策、発音テストでは均等な距離で聞いて評価してほしい、フリートークがあまり充実していない、発音テストの順番が急に回ってきて心の準備がないまま始まる、発音の評価基準を文で明示してほしい、発音が難しいのでもう少し時間を取りたい（宿題にしてくれてもいい）、発音は厳しい、発音テストは1人ずつなので時間がかかる、ほぼ実力だけで評価すること（予習などの努力が反映される割合をもっと増やしてほしい）、発音テストまでの練習時間が短い、

●講師総括と後半授業について

全体として比較的高い評価をいただいたようですので、後半も基本的にはこのような進め方で続けていきたいと思えます。改善点として、ご要望のあった TOEIC については「ワークショップ」の回で扱います。また、フリートークの充実のため、席替えを行います。発音の評価基準についても明示します。なお、資料についてはすべてをお渡しすると知識のほうに気持ちが行ってしまい、肝心の音声練習が軽視されがちですので、基本的にはスライドでの指導としています。もちろん、説明中にハンドアウトのメモ欄のところにしっかりメモを取っていただければそのこと自体も大きな学びになりますので、お手間をかけますがご理解ください。それでは後半もがんばっていきましょう！

<参考：発音テストの評価基準>

- 5・・・十分に明瞭に聞き取れ、ノンネイティブである日本人として、公式の学会やビジネスの会合などの場でなされる発音としてもとくに問題を感じない
- 4・・・十分に明瞭に聞き取れ、ノンネイティブである日本人として、通常の学校や仕事などの場でなされる発音としてもとくに問題を感じない
- 3・・・声量が絶対的に小さい／十分に明瞭に聞き取れない／発音に日本語風のアクセントが残り自然な英語として聞こえにくい／全体に抑揚が小さく平板で内容の聞き取りが難しいなど、ノンネイティブの英語の理想形としては何らかの問題点が見られる

★原則として2点以下はつけないことにしています。毎回の評価者の割合ですが5または4を取るのはクラスの5～10%程度で、多くの方が「3」の評価になっています（3は幅が広いです）。頑張っても3から上がらないという人は、個人的に相談にいらしてください。90分の授業内では一人に避ける時間が限られていますが、個別アドバイスができればずいぶん発音は改善します。

神戸大学石川研究室 平成 22 年度英語系授業中間評価
「英語オールラル 3」水 3（文学部 2 年生）

●実施日 2010 年 6 月 2 日（7 回目授業の開始前）

●回答数 30

●授業満足度平均 7.1/10

●評価点

モジュールで組み立てられているので無駄がない，英語だけでなくプレゼンの指導がある，ほとんど英語で授業が行われるが発音が聞き取りやすい，リスニングや音声学など 90 分でいろいろなことが学べる，先生がユーモアがある，カリキュラムが明確，興味を持たせる内容，先生の英語はわかりやすい，タスクがいくつかあって授業にメリハリがある，プレゼン練習，ディクテで本場の英語に触れられる，話す・聞くの両方に毎回触れられること，話が面白い，毎回のプレゼンを聞くのは楽しい，楽しみながら英語で話せる，プレゼン能力があがる，発音練習がわかりやすい，プレゼンは勉強になる，今までやったことがないプレゼンに対する細かい指導，音声学の指導，プレゼンのための添削，内容を理解しやすい授業，プレゼンの仕方について学べる，会話，正しい発音，発音，発表形式，強制的にディクテがあることでリスニング力が鍛えられる，発音をすごく丁寧に指導，ディクテの内容は親しみやすいものが多い，英語を話す実践力がつく，プレゼンの論理的な思考が身につく，発音を再確認，飽きない，ディクテの解説，プレゼン，眠くない，プレゼンは大変だけど楽しい，話がおもしろい，聞く・話すが両方ある，ノリ，1 回の授業で様々なことをする，面白い，発音指導が懇切，プレゼンにしてもとりあえずなかなか良かったとは言ってくれる，ディクテの練習，英語力をつけるには良い，パワポを創る経験，発音の注意がわかりやすい，英語のニュースのディクテはとてもよい，ディスカッションやプレゼンなど参加型であること，テンポ，小話，最初は嫌だったプレゼンも結構楽しんでる，余談・冗談，プレゼンを見るのが楽しみ，プレゼンで友人と仲良くなれた，発音を声に出して練習できる，プレゼンの改善点の指導，グループ型，先生（この授業耐えました），授業構成が学生の英語力アップに役立つ，時間内にきっちり終わる，英語の発音がよくなりそう，ディクテで英語を聞くようになった，英語力だけでなくプレゼン法も学べる，発音の説明，実用的英語，英語を使う機会になる，英語を話す良い機会，

●改善点

プレゼンの準備にかなりの時間がかかるので回数を少しでいいので減らしてほしい，特でない，音声学講義の必要性を感じない，プレゼンの内容がいくつかの班でかぶるのでテーマを変える，時間が長い，発音指導のスライドの切り替えをもっとゆっくりしてほしい，プレゼンの評価は絶対参照ではなくて絶対参照のほうが公平度が増してよいと思います，プレゼンのお題，時間配分（今週と思って用意したプレゼンが流れると困る），プレゼンの回数の多さ，もう少しリスニングを増やす，会話をした後会話でよく使う単語などのコツを教えてほしい，特でない，プレゼンが多くて少し負担に感じる，フリートークの相手がほぼ同じ，プレゼンのだめだしでたまにへこむ，プレゼンの回数が多い，プレゼンの準備時間が短い，プレゼンのテーマがややこしい，消極的な人にとってはプレゼンばかりという授業は苦しいので少し回数を減らしてほしい，プレゼンのテーマが抽象的すぎて応えづらい，ディクテのファイルを消すのが早い，専門の発表とかぶるとかなり厳しい，プレゼン評価を投票形式にすると恣意的になる恐れがある，プレゼンのテーマについて軽く解説してほしい，発音講義のモジュールをメモする時間が欲しい，ニュースを動画付にしてほ

しい、毎回同じグループで活動するのもどうかと思う（とくにディスカッションなど）、特
にない、音声学がつまらない、ディクテが難しめ、少しねむい、授業のスライドが早い（メ
モする前に先に進む）、テーマが難しい、授業の下準備が厳しい、英語とくにリスニングな
どに苦手意識のある私では努力では補いにくい成績評価かと、プレゼン隔週は特につらい、
特にない、フリートークがぐだぐだになってしまう、隔週でプレゼンを作成・発表し、中
間テストと期末テストと3回もあるというのは負担が非常に大きい、しっかりした授業す
ぎる、

●講師総括と後半授業について

全体としては一定の評価をいただいたようですので、後半も基本的にはこのような進め方
で続けていきたいと思います。後半の改善ポイントとして、プレゼンの進度が当初の予定
とずれてきている点は確かに指摘の通りで、別紙のように予定を組み直し、新しいスケジ
ュールを厳守していきます。また、フィードバックの時間を確保し、準備の負担を軽減す
るためにトピックを一つ減らします。プレゼンの評価についてはビジネスの世界でも研究
の世界でも＜ピアレビュー＞が基本なのですが、絶対的評価を受けていただくことにも確
かに教育的効果があると思いますので、第3プレゼン以降は講師の評価との二重評価にし
ます。また、内容が厳しすぎるというコメントがかなり多くありました。ただ座っている
だけというのではなく、実際にやっていただくことが多いため、ハードな内容で恐縮です
が、多くの方にとってはこれが大学でやる文字通り最後の（！）英語になります。教員側
でもサポートに意を砕きますので、後に残る英語の力をつける場として、後半もがんばっ
ていきましょう！

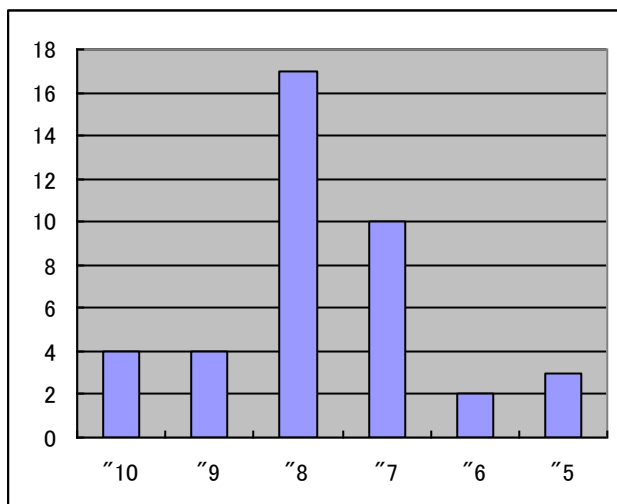
●授業の概要

授業の進行は原則として英語で実施する。また、Module方式を採用している。Module 1(ディクテーション)では、課題音声ファイル(短いCNN ニュース2 本)のうち、いずれか1本をテストとして使用。テスト・回答後、パワーポイントを用いてWords & Expressionsの解説・指導を実施する。Module 2(フリートーク)では、Module 1 で使用したニュースに関連したトピックを取り上げて、グループでのフリートークを行う。Module 3(音声学講義)では歯茎摩擦音・歯間摩擦音など、1 日にターゲットとする子音2つをペアで取り上げる。当該子音の発音の仕組みをパワーポイントで解説し、発音練習をする。Module 4(センテンス発音)では、毎回英語の名言を取り上げる。センテンスの意味・発音方法などの解説後、各自で練習を実施。その後、全員が個別に音読テストを受ける。Module 5(歌詞リスニング)では20世紀のポップスを取り上げ、パワーポイントにて歌手や時代背景についての解説を行う。その後、グループワーク形式で歌詞の穴埋めテストを実施する。Module 6(英文リーディング)では、Module 5に関連したトピックの英文を読み、グループワーク形式で穴埋めテストを実施する。

●実施日 2010/11/22（7回目）

●回答者：40 名

●授業評価平均点 7.73



●評価できる点

とても楽しい、なぜか眠気を感じない、音楽が聞けて楽しい、眠気が飛ぶほど楽しい授業、発音をしっかりしてくれるのでマッちょになりそう、みんながちゃんと授業に集中できている、授業・英語が楽しい、発音の練習ができる、授業が堅苦しくないこと、発音練習をしっかりしてくれる、ちょっと早めに終わるところ、音楽を使っているところ、楽しく英語を学んでいる、分かりやすく伝えてくれる、テンションが好き、自分が参加しながらできる、眠たくない、発音がうまくなっている気がする、英語の聞き取りができるようになってきた、楽しい、発音をしっかりと学べる、その他いろいろ、発音練習楽しい、5分間の友達との英語のフリートーク、毎回の授業で扱うトピックスがよい、元気が良い、活気がある、血気盛ん、先生の授業の進め方が上手、眠くならず関心もてる、英語を好きになる、授業が毎回その日で完結するところ、全員で1つのことを進めていく雰囲気、正しい発音を教えてもらえるところ、正しい発音が見につく、眠くならない、発音重視なところ、曲のセンス、楽しさ、授業のリズムが一定で切り替えやすい、内容が身近で親しみやすい、授業に参加すれば成績にもつながるのでやる気が

出る、授業の進め方がはっきりしている、声を出して発音させるところ、先生の声が大きい、発音練習、先生が面白い、英語で授業を行うというのは理解しようと思って聞けるから良いと思う、発音に関して細かく教えてくれるのが良い。普通はあそこまでは教えてくれない、自由な感じ、英語に慣れる、随所に入る先生の小ネタ、雰囲気、実践的、音楽など楽しいところ、今までで一番英語を使うところ、暇にならない、先生の話し方（教え方）がいい、授業のスライドが分かりやすい、歌を聴くのがいい、ディクテーション後のプレゼンが興味深い、歌詞の書き取りが面白い、楽しい、時間を忘れる、成績が明確、今まであやふやだった発音をしっかりと学習できた、席が自由、授業が楽しい、発音練習が面白い、短い時間で多くのことをやるのでそれぞれ集中して取り組むことができる、初めてこれほど丁寧に発音について学ぶことができた、ちゃんとした発音を学ぶことができる、楽しく学習できていると思う、英語が聞き取りやすくなっている、発音が学べる、音楽が有名なので楽しい、先生のノリが独特、ほとんど英語を使うところ、グループで考えるところ、発音を丁寧にしてくれる、授業の進み方がいい、先生の発音がきれい、先生の言葉がよく伝わる、フリートークが好き、実際に使える英語（発音など）を学べる、英語を聞く機会が多い、4限（遅刻しないで済む）、全員に英語を話す機会がある、話す英語の量が多い、発音面白い、リスニングが曲で取り組みやすい、発音がしっかりできる、名曲が聴ける、先生の毒舌、ほぼ英語なこと、曲が聞ける、普段やらない発音練習をすること、洋楽からのディクテーション、話すこと重視

●改善点

教室の場所が遠い、少しスピードが速い、席を決めた方がよい、発音テストが大変、まだ授業中じゃなかったん？、毎週リスニングテストは大変、席取り争いが実は熾烈、先生の体験したおもしろエピソードや為になるエピソードが聞きたい、席の確保について、ちょっとハイレベルな気も、空調暑い、ペンを動かす作業も増やして欲しい、終わった後疲れる、英語で言われてわからないことがある、発音にかける時間が短い。もう少しやってほしい、リスニングをもうちょっと簡単にしてほしい、パソコンのある教室でやる必要があるのか？、音楽ファイルにロックがかかっている iPod に取り込むのが大変、リスニングの方の訳も配ってほしい、フリートーク難しい、ノートに書き写す時間が少ない、時間を短縮できる、英語で説明されると分からないことが多い、机が狭い、少し休憩が欲しい、パソコンがあるのに使わない、休憩が欲しい、暑い、時間をもっと有意義に使う、英語を聞き取る機会がもっと欲しい、新しい英語の知識を増やすよりももうすでに知っている英語で滑らかに話せるようになりたい、せっかくなのでコンピュータを使った授業で受けてみたい、評価の仕方がはっきりしない、進捗が少し早い、先生の発音、フリートークなどで話したい英単語が出てこない、評価の仕方が分かりにくい、もっと興味のそそる内容がよい、期末テストがない方がよい、発音に関しては得意・不得意もあると思う、発音も大事だが積極的に話すことも評価すべき

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験があまりこれまでなかったせいか、退屈せずに興味を持って授業に取り組んでくれていることは講師としても大変うれしく感じたところでした。一方、改善点については真剣に検討し、可能な範囲で下記の改善を行いたいと考えています。

- 1) 時間の確保（※パワーポイントのスライドの進行など、ノートテイクの状況を確認します）
- 2) 評価方法の説明（※すでに中間報告レポートを発行済みですが、次回発行時に再度説明を行います）
- 3) 座席の指定の検討（※席決めについて希望を授業で伺うことにします）

貴重な意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

平成22年度(2010 年度)前期神戸大学石川研究室

中間授業評価アンケート・フィードバック

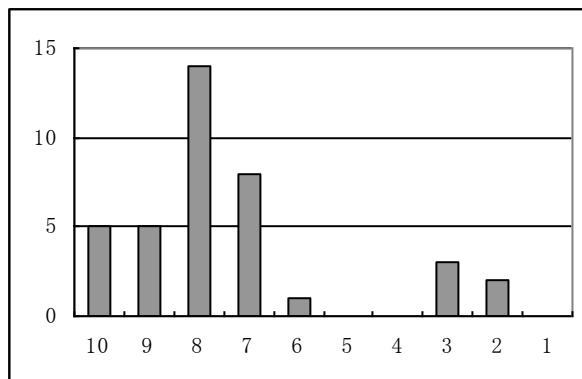
英語オーラル1(水1・工学部1年)

●授業の概要

授業の進行は原則として英語で実施する。また、Module方式を採用している。Module 1(ディクテーション)では、課題音声ファイル(短いCNN ニュース2 本)のうち、いずれか1本をテストとして使用。テスト・回答後、パワーポイントを用いてWords & Expressionsの解説・指導を実施する。Module 2(フリートーク)では、Module 1 で使用したニュースに関連したトピックを取り上げて、グループでのフリートークを行う。Module 3(音声学講義)では歯茎摩擦音・歯間摩擦音など、1 日にターゲットとする子音2つをペアで取り上げる。当該子音の発音の仕組みをパワーポイントで解説し、発音練習をする。Module 4(センテンス発音)では、毎回英語の名言を取り上げる。センテンスの意味・発音方法などの解説後、各自で練習を実施。その後、全員が個別に音読テストを受ける。Module 5(歌詞リスニング)では20世紀のポップスを取り上げ、パワーポイントにて歌手や時代背景についての解説を行う。その後、グループワーク形式で歌詞の穴埋めテストを実施する。Module 6(英文リーディング)では、Module 5に関連したトピックの英文を読み、グループワーク形式で穴埋めテストを実施する。

●平均評価点 7.42点

回答38人(うち2 名は評価欄空欄)



●評価点

リスニングが真剣に勉強できる、thやzなど曖昧な発音が正しくなる、先生が5段階で発音を評価するところ、テキパキと進行している点、音声教材を配布している、発声練習、他の人とのコミュニケーションができる、今まであまり勉強しなかった発音の練習ができる、正しい発音が分かる、リスニング力が上がる、基礎から発音が学べる、楽しく受けられる、リスニング力が鍛えられる点、生きた英語を学べる点、授業に参加しているという実感がある点、発音の仕方(合唱をやっているの)、聞き取り(文章、音楽共に)、リスニング力がつく、しゃべれるようになる、発音の仕方が詳しい、モジュール別にやっているところ、発音がちゃんと学べる、楽しい、自由、英語で話してくれていること、英語で話す機会を与えてくれる、発音はなんとなくだったのが理論的に理解できるようになってきた、スピードが遅いのを教えてくれる、英語を話す際に必要な技能が身につく、正しい発音を学習できる、会話の時間がある、色々なことをやっているの眠たくなることが少ない、英語の発音が詳しく教えてもらえる、歌詞など実践的に学べる、先生の英語がうまい、先生がおもしろい、毎回小テストがあつていい、発音、リスニング、全部、授業のコンセプトがし

っかりしている、とにかくたくさん英語を聴ける、具体的な発音方法が分かる、様々な話題について少し詳しく知れる、自分でしゃべる機会が多い、カリキュラムが退屈しないようになっている、発音が分かりやすい、リスニングに触れる機会が多い、すべきことがはっきり分かる、発音の指導が細かい、かたくなしくない、1人1人の発音のテストをする、内容が充実しているので時間が過ぎるのが早い、発音について詳しく教えてくれる、リスニング力が向上する、リスニング能力が身に着く、発音のコツがつかめる、今まで学んでこなかった発音について学べる、発音について詳しく教えてくれる、活気がある、やる気がある、英語が楽しい、英語に慣れることができる、リスニング力が上がる、

モジュール2

●改善点

リスニングテストはA・Bするべき、スライドはレジュメで渡して欲しい、無記名のアンケートと言えどテストとかに書かれた文字と筆跡を見比べれば個人を特定できるのでは？、遅刻を多めにみてほしい、電車が遅れたときは許して、パソコン画面のスクロールが早い(ノートが完全にとれない)、パワーポイントの送る速度が速い、延着への対応、授業ペースが速くてノートが間に合わない、ディクテーションの時にもう少し聴きたい、ディクテーションの時にもう少しヒントを具体的にしてほしい、リスニングの時書く時間がないので括弧ごとに少しだけ時間を取ってほしい、発音のテストの待ち時間が長い、電車の遅れのための遅刻は何とかしてほしい、不満ではないがディスカッションもしてほしい、交通機関の遅延に対する配慮、宿題をパソコン提出ではないようにしてほしい、ディクテーションのパワーポイントで一番下書いてある文が書ききれないので少し時間を取って欲しい、電車遅延に対する救済措置を設けるべき、1限でD棟の授業なので遅刻に対してもう少しゆるくしてほしい、ノートの書き取り時間が少し短い、最後のリーディングの必要性、眠い、1限目がつらい、初めのリスニングテストをA・Bどちらかにしぼってほしい、少しぐらいの遅刻は認めて欲しい、内容に対して時間がいつもギリギリ、先生の偏見が多い、授業の最後に時間ギリギリでスライドが早くて写せない、小テストをなくす、発音テストをなくす、単位をよこす、出席するだけで単位を取れるようにしてほしい、電車の延着を考慮すべき、リスニングを繰り返す、発音評価の詳細

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので、基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験がこれまで少なかったせいか、退屈せず、興味を持って授業に取り組んでくれている方が多かったのは講師としても大変うれしく感じたところでした。一方、改善点について貴重な意見をいただきました。まず、リスニングテストについてですが、時間の関係でテストはいずれか1つにしていますが最終試験には両方を含みますので皆さんの努力が無駄になるようなことはありません。第2に、遅刻対応については、例年ご意見の多いところです。電車の遅延などたしかに事情は理解できるのですが、一方で、一般社会、たとえばビジネスの世界では電車が遅れたからといって遅刻が許容されることはまずありません。大学教育が社会に出てゆくための準備教育の要素を含む以上、やはり遅刻にはそれなりの対応を行うべきではないかと考えます。無理を言いますが、この点、ご理解いただければ幸いです。第3に、進度が早すぎるというご指摘については、後半授業において改善を試み、ノートテイクに必要な時間を確保するようにしたいと思います(ノートテイクの時間が足りないと思ったときは遠慮なく声をかけてください)。皆さんの貴重なご意見に感謝します。では、後半も頑張っていきましょう！

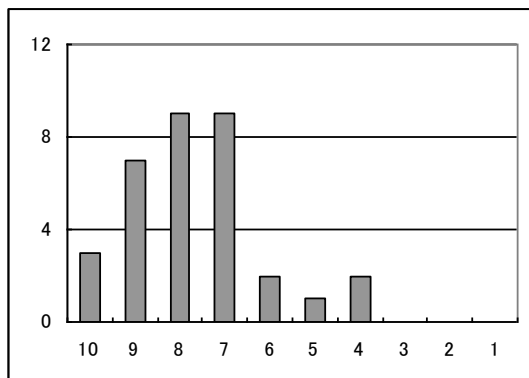
平成22年度(2010年度)前期神戸大学石川研究室
中間授業評価アンケート・フィードバック
英語オーラル1(水2・法学部1年)

● 授業の概要

授業の進行は原則として英語で実施する。また、Module方式を採用している。Module 1(ディクテーション)では、課題音声ファイル(短いCNN ニュース2本)のうち、いずれか1本をテストとして使用。テスト・回答後、パワーポイントを用いてWords & Expressionsの解説・指導を実施する。Module 2(フリートーク)では、Module 1 で使用したニュースに関連したトピックを取り上げて、グループでのフリートークを行う。Module 3(音声学講義)では歯茎摩擦音・歯間摩擦音など、1日にターゲットとする子音2つをペアで取り上げる。当該子音の発音の仕組みをパワーポイントで解説し、発音練習をする。Module 4(センテンス発音)では、毎回英語の名言を取り上げる。センテンスの意味・発音方法などの解説後、各自で練習を実施。その後、全員が個別に音読テストを受ける。Module 5(歌詞リスニング)では20世紀のポップスを取り上げ、パワーポイントにて歌手や時代背景についての解説を行う。その後、グループワーク形式で歌詞の穴埋めテストを実施する。Module 6(英文リーディング)では、Module 5に関連したトピックの英文を読み、グループワーク形式で穴埋めテストを実施する。

● 平均評価点 7.7点

回答33人(うち2名は評価欄空欄)



● 評価点

発音についての細かい指導があること、モジュールが6つあって授業がテンポよく進むこと、実用的な英語に触れることができる点、発音が詳しくできる(初めてやりました)、様々なトピックが学べる、人前で英語を話す経験ができる、洋楽を用いての授業、発音の練習、先生の聞き取りやすい発音、発音の仕組みを論理的に学べる、普段しゃべることのない英語を使える、授業を通じて社会的なことを学べる、正しい発音が本格的に学べる、早い英文を聞きとろうと努力できる、先生が面白い、歌、発音にまつわる講義の分かりやすさ、一つ一つのモジュールの長さが適度であること、授業に飽きがこない、色々なことをやれて楽しい、授業時間内にムダがない、楽しく学べる、力がつくような気がするしモチベーションが上がる、歌の聞き取りがとても楽しい、発音練習がためになると思うので良いと思う、フリートークは英語で話すことはなかなかうまくできないが楽しいので良いと思う、英語を実際に使う機会が与えられている、ネイティブの英語を集中して聴くことができる、発音の練習、やることははっきりしているので授業中の行動が取りやすい、発音の仕方について詳しく学べて反復練習ができる、テーマやトピックなどが考えさせられるものが多く面白い、90分間の密度、発音の丁寧な講義、先生のはっきりとした話し方(日本語含め)、小テストの予習ができること、グループワークで聞き取り練習させるところ、たまに日本語でしゃべってくれる、グループでの作業、英語の歌が聞ける点、発音のやり方が分かりやすい、歌のリスニング(特に

ザナドゥ), フリートークの中でその問題について皆で考えること, 英語で授業が進むところ, 取り上げるトピックが面白い, 発音よくなるかも~, 隣のひとと会話するコーナーがある, 発音の指導がある, 歌のリスニングがある, 発音を正しく学べるところ, フリートークの内容が面白い, 席が指定でないのでディスカッションを友達と行えて自分の意見を言いやすい, 小テストのやり方, 今までいい加減だった発音を体系的に学習できる点, フリートーク・音楽など楽しみながら学習できる点, 歌のディクテーションが楽しい, 発音をきちんとやってくれるところ, リスニングがある, 発音の練習をきちんとやっていること, 楽しい, 発音の練習ができる, ディクテーションのときに予備知識が得られる, 全部英語, 本格的な内容で実力に繋がると思う, 正しい英語の発音が身につけられる, 色々な人と仲良くなれる, 洋楽などのカルチャーに触れているのが興味もわいて楽しい

●改善点

少し進行がはやくて相談などが十分に行えないことがある点, スピーチなどを導入してみてもどうか, 普段英語を話さないで相手と話すとき言葉が出てこなくてつらい, 聞き取りで休講だった分の英文の答えが欲しい, 教室が遠いこと, 六甲台のII学の校舎からここまで20分で行くとトイレに行く時間がなくて困っている, 前の授業が六甲台なので移動するとトイレに行く時間がなく, また質問などしていると間に合わない。5分だけゆとりを持って頂くことはできませんか?, 洋楽を2000年代の曲も取り上げる, 長田高校時代の思い出を多く取り上げてほしい, 成績評価が厳しすぎる, 法学部は1限目の授業が山の上にあるので移動に時間がかかる。先生が若干授業を延長する時もあるので, なるべく走るが多少の遅刻は認めて欲しい, ディクテーションが厳しい, もうちょっとヒントが欲しい(事前に), 課題ディクテーションで次は何番のテストをするか予告だけでもして欲しい, 教室が遠い, OK~ののびるところ, グループの人数調整がきつそう, 小テストの音声データをウォークマンに移すとタイトルが初期化されてどれがどの回のものか分からなくなるので改善を希望する, リスニングがちょっと速い, Module 6の時間が少ない, 宿題のリスニングのディクテーションシートをあらかじめ渡して欲しい, 発音を練習する時間が少ない, talking?の時間が少し長い, 発音の点数評価は経験差が出ると思う, 毎回の小テストは事前に文章に穴のあるプリントを配って家でプリントを見ながら問題を聞けるようにしてほしい, 5分以内の遅刻は許してほしい, 発音等の時間がもっとあればよい, 発音テストでけなされると傷つくので改善してほしい, 映画のセリフとかの聞き取りもしてみたい

●講師コメント

全体として一定の評価を得ているようですので, 基本的には後半も同一の方針に従って授業運営を進めていきます。発音をきちんと学ぶ経験があまりこれまでなかったせいか, 退屈せずに興味を持って授業に取り組んでくれていることは講師としても大変うれしく感じたところでした。一方, 改善点の指摘についてはすべて真剣に検討させていただきました。ご指摘の点のうち, まず, ディクテーションテストについて負担に感じておられる方が多いようですが, これは評価のためのテストというよりも, 自宅で1週間の間に一定量の英語を聞いていただくことに課題の主眼があります。その意味で, 申し訳ないですが, 事前にテスト用紙を配布したり, 問題を予告したり, あるいは問題数を減らしたりするのは対応しにくい状況です。点数に一喜一憂するよりも, 世界の人が当たり前のように毎日聞いている平易なニュース英語について, 自分が現段階で何が聞き取れて何が聞き取れないのか, それを確認しつつ学んでいただければと思います。発音テストでのフィードバックについては, 指導の内容について留意し, 皆さんに発音の改善のヒントをつかんでいただけるようにしたいと思います。最後に, 六甲台からの移動に時間がかかり定刻に来られないという点については, 重大な問題ですので, 授業でも相談させていただき, 学部申し入れるか, あるいは時間帯をずらすか抜本的に対策を講じたいと思います。そのほか, 音声ファイルのファイル名のことなど, 個人的に対応できるものは対応します。では, 後半も頑張っていきたいと思います!